

—新元号の始まりにあたって—

# 令和

天皇陛下の御即位を心からお喜び申し上げますとともに、新元号「令和」という新しい時代の幕開けを美しく咲き誇る桜の花に包まれながら市民の皆様とともに迎えることができましたことを大変喜ばしく思います。

「令和」は日本最古の歌集「万葉集」から引用したもので、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められており、これからの弘前市も「令和」という元号にふさわしいまちづくりやひとづくりが必要であると強く感じているところであります。

また、本年は明治22年に市制が施行され、全国で初めて市を名乗った31市の一つとして弘前市が誕生してから130周年の節目の年でもあります。

藩政時代からこれまで多くの先人たちが築き上げ、継承

してきた弘前特有の文化や伝統を次の時代にしっかりと引き継いでいくため、「弘前市協働によるまちづくり基本条例」の理念に基づき新しい総合計画を策定いたしました。

総合計画の将来都市像である「みんなで創り みんなをつなぐ あずましいりんご色のまち」を実現するため、市民生活を第一に、市民の「くらし」を支え、市民の「いのち」を大切にし、次の時代を託す「ひと」を育てる、この3本の柱による政策を展開してまいります。

記念すべき「令和」の時代の新たな一歩を市民の皆様とともに踏み出し、弘前に暮らして良かったと感じられるまちづくりを着実に進めてまいりますので、皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

写真のさくら…日本最古のソメイヨシノ

弘前公園内の日本最古といわれるソメイヨシノは1882（明治15）年に植えられたものとされており、明治から平成の時代を力強く生き抜き、令和の幕開けとなった今年も見事な花を咲かせています。

弘前市長  
櫻田 宏

弘前市誕生130周年特別企画

## 懐かしの風景

—あの場所はいま—

本企画では、弘前の懐かしい建物やまちの風景を毎月紹介しています。その場所が今どのように変化したのか、皆さんもぜひ探ってみてください。

■問い合わせ先 文化財課（☎82-1642）



▲大正～昭和初期

明治31年（1898）までに設置された旧第八師団野砲兵第八連隊の門が見えます。明治42（1909）年には約30棟もの建物がありました。

#2  
豊原  
1丁目



▲現在

当時の門は現在も残っており、跡地は市立第三中学校などに利用されています。門の奥には校舎が見え、時折チャイムの音が聞こえます。

特集

# 新しいりんご公園を 楽しもう！



## りんご公園、5月6日（月・振休）から リニューアルオープン！

毎年「りんご花まつり」や「りんご収穫祭」などでにぎわい、りんごをこよなく愛する市民の憩いの場となっているりんご公園が、この度「りんごの情報発信の拠点」としてリニューアルオープン！

地元の人も観光に訪れた人も、子どもも大人も、みんながりんごに親しみ楽しめる、新しくなったりんご公園の見どころを紹介します。

■問い合わせ先 りんご課（☎40-7105）、りんご公園（☎36-7439）

